

図書便り（４月号）

平成３１年（２０１９年）４月２３日発行
文責　山瀬

～新学期が始まりました～

上級生のみなさん、進級おめでとうございます。新しい年度が始まりました。そして５月には、新しい元号「令和」となります。新しい時代の幕開けとなるこの一年に、みなさんはさまざまな分野で活躍してくれることでしょう。皆さんにとって実りのある一年間となることを期待しています。

新入生のみなさん、定時制の雰囲気はいかがでしょうか。中学校生活とは違うことに、戸惑うこともあるかもしれません。その時は、先輩や先生に困っていることや助けてほしいことを言ってください。先輩方は、優しく答えてくれると思います。もちろん先生も答えますよ。



図書室は、生徒みなさんの憩いの場です。図書室で、本を読むもよし、勉強するもよし、友人とおしゃべりするもよし、カードゲームや創作活動をするもいいでしょう。図書部は、図書に関する希望やワークショップなど、みなさんの要望に応えられるよう頑張ります。

✿ 新着図書案内 ✿

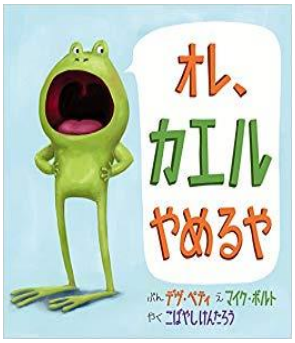
今回は、読み終えた時に新しい気づきが見つかるかもしれない本を紹介します。

『二番目の悪者』　林　木林（著）



金色のライオンは次の王になりたかった。ところが、町はずれに優しい銀ライオンが「次の王様の候補」という噂を聞いてしまう。その噂を知った金のライオンがとった行動とは？SNS の時代だからこそ読んでほしい絵本。

『オレ、カエルやめるや』　デヴ・ペティ（著）



カエルは、カエルがいや。だってヌルヌルして、濡れていて、もっとカワイくてふさふさの動物がいい。カエルの親子が繰り広げる、ユーモラスな会話劇にほっこり。読み終えると自分自身が好きになれる絵本。

『本と鍵の季節』　米澤　穂信（著）



堀川次郎は図書委員。同じく図書委員の松倉詩門(しもん)と当番を務めている。そんな二人に先輩から亡くなった祖父が遺した金庫の鍵の番号を探り当ててほしいと依頼される。放課後の図書室を舞台にした青春ミステリー。

『ペットボトルは英語じゃないって知っとうと！？』　アン・クレシーニ（著）



英語だと思って使っているけれど実は英語圏では通じない「和製英語」。ペットボトル、フライドポテトなど日常生活にあふれるこれらの言葉を 200 の実例と多角的な切り口で徹底解説。